



P77参照



※テーブルはATN-N(P245)参照



MCN-3N: ブルー

人間は椅子に座ったとき、体重の約85%を座面で支えています。そのためお尻の骨の部分に圧力が集中しお尻に痛みや不快感を感じます。痛みを回避するため姿勢が崩れ、身体の他の部分に負担がかかります。

椅子の座面の形状をお尻の形状に合わせることで、圧力が分散し、お尻の痛みや不快感が軽減します。

岐阜県生活技術研究所・共同開発

人間工学に基づいて開発された 3D座面がお尻にフィット

POINT

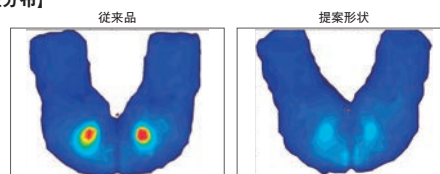
提案の座面形状



座インナー樹脂の形状



【体圧分布】



※色が赤く濃い部分ほど圧力がかかっています。
(個人差はあります)